

門議員

その他の質問
・高齢者世帯への屋根雪融雪方式の補助制度の創設
と北谷町の生活環境の改善について

平成24年度 勝山市政策 基本目標管理外部評価報 告書(答申書)について

Q 質問 市民活動センターの活動は、中心市街地の活性化と交流や賑わいを求めているモノであったと記憶しているが、それがどうであったのか具体的にどのような結果になったのか伺う。

A 答弁 市民活動センター内に事務所を置いていた勝山観光協会による観光客への案内機能の提供や、周辺での土曜夕市や各種イベントへの出店などを通じて、まちなかの賑わいの創出に寄与してきた。また市民活動センターを拠点とし、延べ48の団体が活発に社会貢献活動を行い、さまざまな形で施設を利用してきた。入居団体に組織する市民活動ネットワークは、現在も日々活発な活動を繰り広げるなど市民活動が非常に活性化されてきたと考えている。

で、それぞれの店が自己主張したまつりづくりは見事であった。そこで来年の夏祭りやダイノソニックとの関係、及びまちなかストリートフェスをどのようにつないで実施するのか。

A 答弁

まちなかストリートフェスは市内の若者たちが主体的に開催した事業であり、来年度以降の開催についても、彼らの主体性を尊重する中で、市としてもできる限りの支援をしていきたいと考えている。またダイノソニックについては、来年度も開催する方向で検討を進めている。ストリートフェス、ダイノソニック、夏まつり、それぞれの開催日時等の調整及び連携を図りながら、より効果的に事業ができるよう検討していきたいと思っている。

帰山議員

公民館のコミュニティセン ター移行について

Q 質問 目的及びスケジュール・具体的内容を問う。

A 答弁 公民館の今後のあり方については、平成25年5月に策定した第2次勝山市行財政改革実施計画において、「地域住民が主体となったまちづくり及び社会教育等の各機能を複合的に備えた新たな地域の中核施設となる(仮称)コミュニティセンターへの段階的整備を図る」ことを盛り込んでいる。本計画では、平成27年度の(仮称)北谷町コミュニティセンターの開設以後、計画最終年度の平成32年度までに他地区へ整備検討することとして計画しているが、段階的導入に向けての具体的なスケジュールについては明記していない。(仮称)北谷町コミュニティセンターを核として地域が主体となった北谷地区全体のまちづくりの取り組みを先行して進めながら、他地区におけるコミュニティセンターについては、小学校の再編や地域の特色、住民の意向や経済状況などに応じて柔軟に対応し、導入を検討していく方針である。

平成27年度に設置予定としていることから、同センターの「設置及び管理に関する条例」については、平成26年度12月議会には条例を上程する予定である。

またセンターの設置に伴い、コミュニティセンターの管理運営については、NPO法人による指定管理者導入を検討しているため、今後、「勝山市指定管理者導入マニュアル」に定められたスケジュールに基づき市議会への説明を行いながら順次進めていきたいと考えている。

これまで社会教育法のもと、生涯学習・社会教育の拠点施設として管理運営されてきた北谷公民館から、地域が主体となって総合的なまちづくりを展開する新しい拠点施設として生まれ変わる(仮称)北谷町コミュニティセンターについては、条例等の整備なども含め市長部局所管に位置づける方向で検討していく。

一般質問

かつやままちなかストリー トフェスについて

Q 質問 まちなかストリートフェスは、勝山の若者たち自身による演出が魅力的であり、広場やストリートを生かした枠組みの中



まちなかストリートフェス

まちなかストリートフェスは、市内の若者たちが主体的に開催した事業であり、来年度以降の開催についても、彼らの主体性を尊重する中で、市としてもできる限りの支援をしていきたいと考えている。またダイノソニックについては、来年度も開催する方向で検討を進めている。ストリートフェス、ダイノソニック、夏まつり、それぞれの開催日時等の調整及び連携を図りながら、より効果的に事業ができるよう検討していきたいと思っている。



北谷公民館